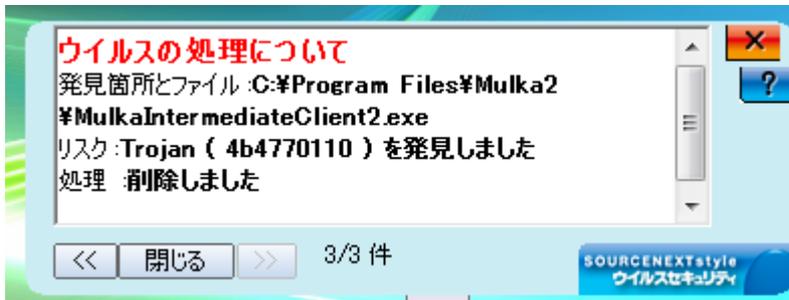


■ 問題の内容

- ・ ウイルスセキュリティ ZERO をご利用の場合、Mulka2 インストール時に「ウイルスの処理について」という画面が表示されます



- ・ インストール後、デスクトップに作成される Mulka2 のアイコンをダブルクリックしても、エラーが発生しうまく起動しません



■ 原因

- ・ ウイルスセキュリティ ZERO が Mulka2 を構成する 3 つのファイル「EmitOnline.exe」「MulkaIntermediateClient2.exe」「MulkaOnlineBridgeClient2.exe」をウイルスに感染していると誤認識してしまうことが原因です
- ・ いずれのファイルも、中間ラジコン通過情報をサーバと通信するプログラムで、外部と通信することからウイルスと認識されてしまうようです
- ・ これらは中間ラジコンを利用しない場合は必要ありませんが、Mulka2 起動時に Windows によるチェックが行われ、ファイルが無い場合うまく起動できません
- ・ 対策としてウイルスセキュリティ ZERO に対し、上記ファイルをウイルスチェックしないよう設定します

■ 解決方法

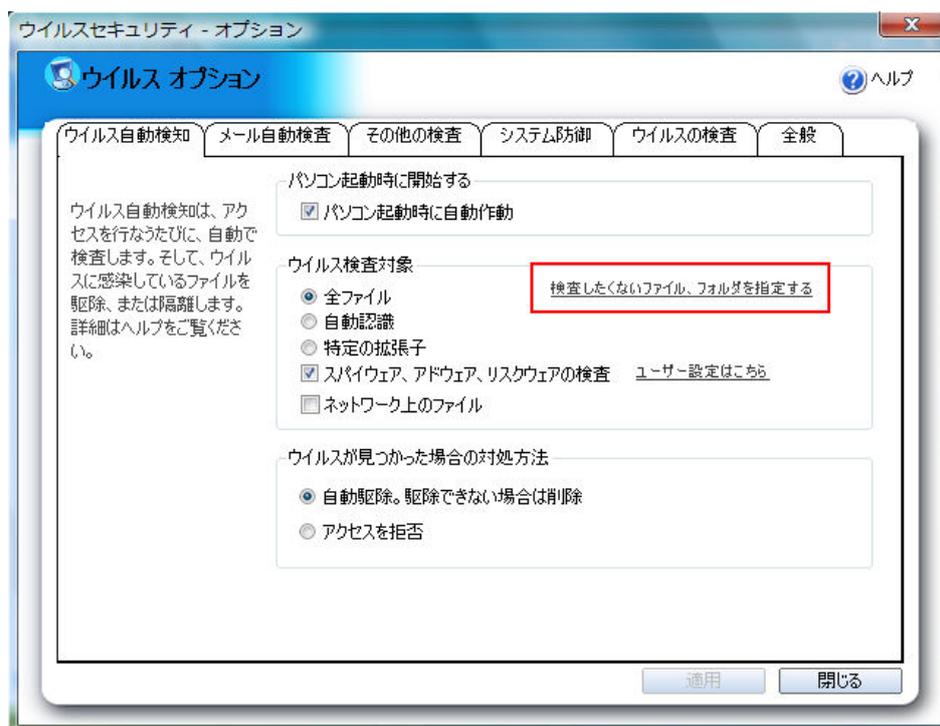
- ・ Mulka2 をインストールする際、ウイルスセキュリティ ZERO の機能を停止してからインストールを行います
- ・ 機能の停止はタスクトレイ（通知領域）に表示されるウイルスセキュリティ ZERO のアイコンを右クリックし、表示されるメニューにある「すべての機能を無効」をクリックして行います

ウイルスセキュリティ ZERO のアイコン : 

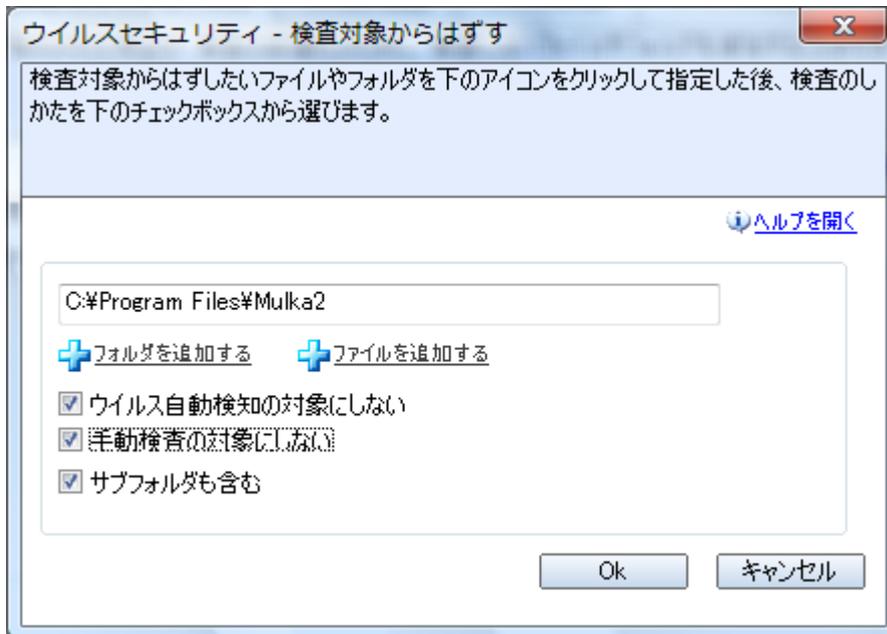
- ・ インストールが終了したら、再びタスクトレイ（通知領域）にあるウイルスセキュリティ ZERO のアイコンを右クリックし、「設定とお知らせ」をクリックして画面を表示します
- ・ 「ウイルスとスパイウェアから守る」タブをクリックし、画面右側にある設定ボタンをクリックします



- ・ ウィルスオプション画面の「検査したくないファイル、フォルダを指定する」をクリックします。



- ・ 表示された画面で「ファイルやフォルダを追加」をクリックします
- ・ 「フォルダを追加する」をクリックし、Mulka2 をインストールしたフォルダを選択します。
- ・ 「ウイルス自動検知対象にしない」「手動検査の対象にしない」「サブフォルダも含む」にチェックをいれて、OK ボタンをクリックして下さい。



- ・ 以上で設定は完了です。ウイルスセキュリティ ZERO の機能を有効に戻してください。